TEC－FORCE 支援活動報告会を開催

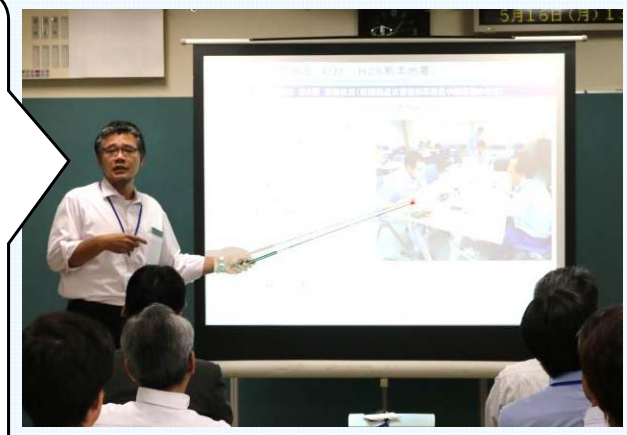
～ 平成28年熊本地震 ～

過去に例のない２回の震度７を観測した「平成２８年熊本地震」では広範囲にわたり甚大な被害が発生しました。この地震で各地の道路や橋、トンネルなどの道路構造物等も被災し、支援物資の搬送等にも大きな影響を与えました。今後の被災地の復興を支えるには道路等の復旧を早急に行う必要があるため、国土交通省は４月１５日よりＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ（テックフォース：緊急災害対策派遣隊）を被災地に派遣しました。（北は北海道から南は沖縄まで、全国から隊員が集結するのは史上初！）

高山国道事務所も職員２人（田村建設監督官：４月２６日～５月２日、坂地副所長：５月１日～５月６日）を道路調査班として派遣し、余震が続く中、現地調査、応急対策、復旧工事の概算数量算定、災害申請資料の作成等の業務を実施しました。

これらの支援活動について、５月１６日（月）に事務所２階災害対策室において高山市、下呂市の職員も参加された中で所内報告会を行いました。

この飛騨地域にも多くの断層があるので、同規模の地震等災害がいつ起こるかわからない。今後、発生した場合にどうしたらいいのか考えておかなければならない。



田村道雄 建設監督官
４月２６日から５月２日まで
熊本県阿蘇市、大津町に派遣

被災した道路の調査状況

坂地光博 副所長(技術)
５月１日から５月６日まで
熊本県西原村、南阿蘇村に派遣

有事の際、他地整から派遣されるテックフォースの受け入れは、事務所のみでは手狭なため、市役所なども支部スペースとして提供いただくようお願いすることになると思われる。

被災した道路の調査状況

調査報告書を
九州地方整備局へ提出

本格的な降雨シーズンを前に道路の安全確保のために

訓練の様子（5/18飛騨市神岡町船津）

５月１７日（火）～１９日（木）の３日間にわたり、大雨による通行規制を想定した「交通遮断機」、「道路情報板」の合同操作訓練を実施しました。
今年度の訓練は、初めて飛騨三協防災対策協議会の皆様方にもご参加をいただき、合計 3箇所で、延べ64名が訓練を実施しました。

【飛騨三協防災対策協議会について】
飛騨地域の土木・電気業者41社により構成されている組織であり、災害発生時における応急対策や災害支援を行っています。

雨量規制区間（事前通行規制）とは

大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などを元にそれぞれ規制の基準等を定め、**災害が発生する前**に「通行止」などの規制を実施し、**道路を利用する皆様の安全を確保**します。

※通行規制は、通行者の皆さまの安全確保を第一に実施しております。
規制時には、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

遮断機の操作方法の説明の様子

遮断機の操作訓練の様子

道路情報板の操作訓練の様子

通行止めを実施する区間の降雨予測情報をはじめ、様々な道路情報を「ひだ道ガイド」で提供していますので、お役立て下さい。

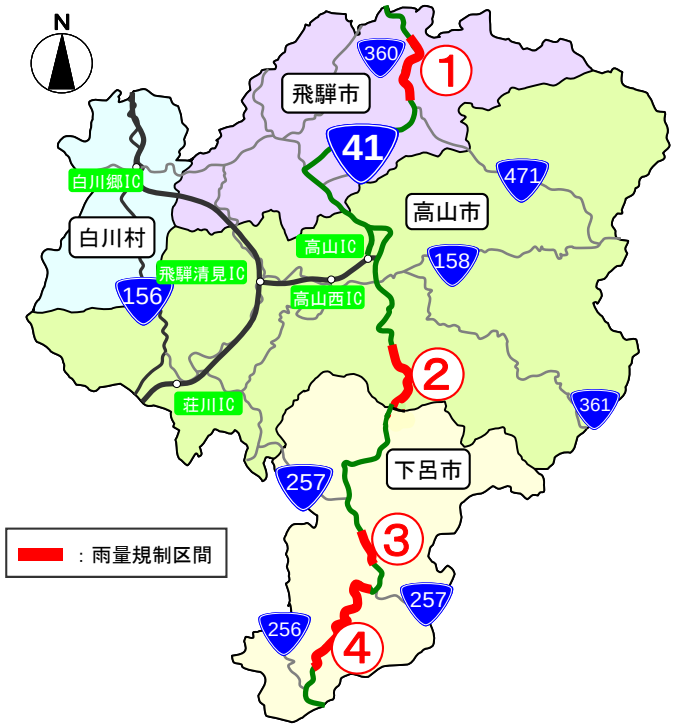
ひだ道ガイド

スマートフォン・携帯電話　http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/mobile/

ＰＣ版　http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/

高山国道事務所管内　国道41号の雨量規制区間

高山国道事務所が管理する国道41号では、管理延長約136kmのうち、約3割の40.3kmが雨量規制区間となっています。



① 吉ヶ原（よしがはら） 規制区間（延長11．8km）
飛騨市神岡町船津（ふなつ）～同町東茂住（ひがしもすみ）
通行止め基準：連続雨量120mm　※1

② 渚（なぎさ） 規制区間（延長8．0km）
高山市久々野町渚（なぎさ）～同町無数河（むすご）
通行止め基準：連続雨量150mm　※1

③ 東上田（ひがしうえだ） 規制区間（延長2．6km）
下呂市東上田（ひがしうえだ）
通行止め基準：連続雨量240mm　※1

④ 瀬戸（せと） 規制区間（延長17．9km）
下呂市金山町中切（なかぎり）～同市三原（さんばら）
通行止め基準：連続雨量150mm　※1
換算連続雨量100mm　※2

※1　**連続雨量**… 降り始めからの降雨量の累積です。ただし道路の降雨量は、原則として時間雨量２mm以下の小雨が３時間以上続いた場合、０mmに戻す運用をしています。

※2　**換算連続雨量**… 連続雨量と同様に雨量の累計ですが、降った雨が土中にしみ込んだり川等へ流れ出す現象に近い計算式を用い、降り始めからの累計雨量から増減を行ったものです。

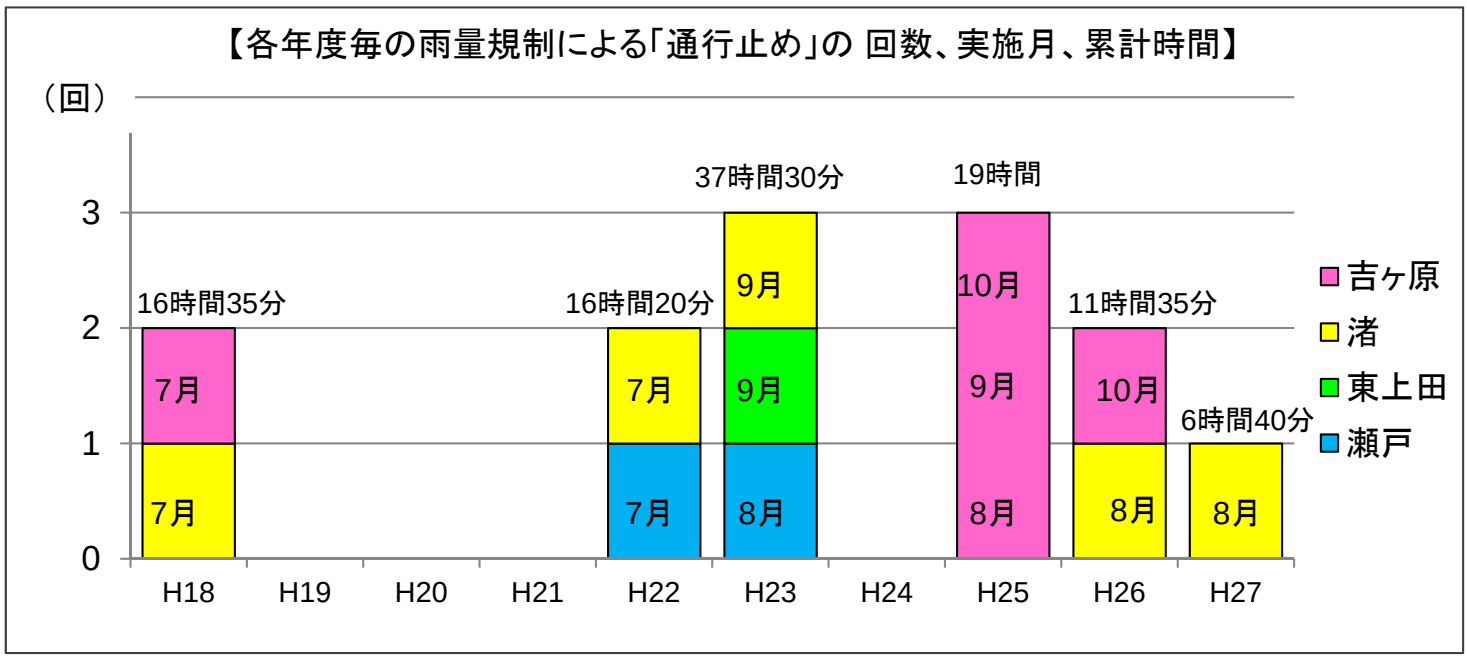
背景　－　飛騨川バス転落事故　－

昭和43年8月18日、岐阜県加茂郡白川町内の国道41号において、豪雨に伴う土石流により観光バス2台が飛騨川に転落し104名の尊い命が奪われました。

雨量規制による事前通行止めは、このような悲惨な事故を防ぐため翌年より制度化されたもので、区間毎に基準を超える大雨が降った場合、雨がやんで安全が確認されるまでの間、通行止めをするものです。

過去10年の雨量規制の実績　　高山国道事務所管内

雨量規制を伴う大雨は7月から10月に集中し、1回あたりの平均通行止め時間は約8時間に及んでいます。



飛騨高山高校の生徒による春の環境学習
～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

平成28年5月13日（金）に飛騨高山高校環境科学科1年生36名と3年生39名が、高山西インターチェンジ内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、春の環境学習を行いました。

1年生にとっては、入学して初めての実習であり、3年生が講師となりビオトープの成り立ち等を学びました。また、3年生は、春に見られる水生昆虫（トンボのヤゴ等）の捕獲・識別実習と樹木の生育調査を行いました。

同校と高山国道事務所が締結した「ビオトープの維持管理に関する協定」に基づき定期的に実施しているもので、環境学習を行うことで、自然環境調査に必要な基礎的な知識と技術の習得および飛騨の自然環境の習得について理解を深めています。また、これまでの同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が増殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が改善又は維持されています。

【水生昆虫（トンボのヤゴ等）の捕獲】

【捕獲した水生昆虫（トンボのヤゴ等）の識別】

【樹木の生育調査】

【3年生の説明を熱心に聞く1年生の生徒たち】

編集・発行　中部地方整備局　**高山国道事務所**　〒506-0055　高山市上岡本町7丁目425番地

TEL　(0577)36-3822　FAX (0577)36-3801　URL http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/

平成28年５月24日発行

担当：計画課